

## 民族薬物資料館

## Museum of Materia Medica

館長 小松 かつ子

Curator

Katsuko Komatsu (Ph.D.)

技術補佐員 出口 鳴美

Research Assistant

Narumi Deguchi

### ◇目的

世界の諸民族の伝統薬物を蒐集、保存、展示するとともに、それらの学術情報を収載したデータベースを構築し、伝統薬物に関する共同研究を推進する。

### ◇活動概要

#### I) 民族薬物データベース (ETHMEDmmm) の構築

当資料館には、和漢薬、アーユルヴェーダ生薬、ユナニー生薬、チベット生薬など約25,000点の生薬標本が保存されている。これらに関するデータベースを順次開発し、生薬標本情報並びに学術情報を整理し、構築している。本年は、ユナニー生薬データベース、タイ生薬データベースのWeb版を開発し、また各種情報の登録と校正を行い、Web上で公開するまでに完成させた。

#### II) 薬草古典データベースの構築

中国薬草古典「証類本草」データベースのWeb版ソフトの改良を行った。『証類本草』6-11巻(草部)の収載品の翻訳・校正を行いデータベースに登録、一部をWeb上で公開した。ネパール薬草古典『ビルニガントウ』英訳本のデータベース化に着手した。

#### III) 一般公開

平成18年10月29日に第9回の民族薬物資料館一般公開を実施した。予約制とし、10時、11時、14時、15時、16時からの5回に分けて各1時間、生薬の解説を加えながら館内を案内した。特設展示として、海外調査研究「漢薬資源をアジアに求めて」の成果をパネルにまとめ、また今年から一部公開を開始した中国薬草古典『証類本草』データベースのうち「人参」について説明を行った。13:00～13:50に和漢医薬学総合研究所の柴原直利教授による講演会「生活習慣病と漢方」を開催した。来館者は47名、講演会参加者は33名。この一般公開は同研究所生薬資源科学分野の全面的な協力の下に行われた。

### ◇学会報告

- 1) 小松かつ子, 民族薬物データベース作成委員会, 証類本草データベース作成委員会: 民族薬物データベースと証類本草データベース. 第1回博物科学会, 2006, 6/22-23, 札幌.
- 2) Komatsu K., Basnet P.: The Database of Ethno-medicines in the World (ETHMEDmmm). Bhutan - Japan Symposium on Conservation and Utilization of Himalayan Medicinal Resources: Save the Traditional Knowledge and Natural Resources, 2006, 8/29-31, Thimphu, Bhutan.
- 3) Komatsu K., Wongpanich V., Ruangrunsi N., Deguchi N.: The database system of ethno-medicines in the world (ETHMEDmmm) - Sino-Japanese, Ayurvedic and Thai crude drugs - JSPS-NRCT Core University Program - The Seventh Joint Seminar, 2006, 12/1-3, Toyama.

## ◇記録

### I) 見学者 (2006 年 4 月 1 日 ~ 2007 年 3 月 31 日)

来館者総数： 691 名 (日本人 614 名、外国人 77 名)

案内総回数： 103 回 (日本人 79 回、外国人 24 回)

外国人の国名 (人数)：韓国 (28)、中国 (27)、アメリカ (9)、タイ (6)、  
ベトナム (5)、エジプト (1)、モンゴル (1)

主な来館者の所属先

【海外】WHO/WPRO、韓国 (圓光大学、東義大学、檀国大学、尚志大学他)、中国  
(中国駐日大使館、湖南省中薬考察団、重慶医科大学、南京中医薬大学、  
北京中日友好病院、北京標的治療研究所他)、アメリカ (ハワイ大学他)  
タイ (チュラロンコン大学、マヒドン大学他) 他

【国内】文部科学省、国際協力機構、大学評価・学位授与機構、日本学術振興会、  
国公、私立大学 37 校、東海北陸地区国立学校研修会、日本薬学会北陸支部、  
富山県立富山いずみ高校、石川県立田鶴浜高校、新潟県立高田高校、日本  
中医食養学会、ダイードロリンコ、日立造船、富山化学、放送大学講座他

### II) 民族薬物データベース (2006 年 4 月 1 日 ~ 2007 年 3 月 31 日)

アクセス数： 9,478 件

専門検索アクセス数： 1,434 件 (日本語 1,058 件、英語 376 件)

専門検索登録者数： 118 名 (日本語 102 名、英語 16 名) (全 1,067 名)

一般検索アクセス数： 2,020 件 (日本語 1,850 件、英語 170 件)

### III) 出展

- 1) 民族薬物資料館ポスター・大学博物館ポスター展、新潟大学旭町学術資料展示館、2006、4/4-7/29、新潟。
- 2) 民族薬物資料館ポスター・大学博物館等協議会 2006 年大会 (第 1 回博物科学会)、2006、6/22-23、札幌。
- 3) 民族薬物資料館・民族薬物データベースポスター「世界の伝統薬物と民間薬の知恵を収積」・第 28 回日本アーユルヴェーダ学会富山研究総会、2006、9/23-24、富山。
- 4) 「現代に生きる伝統薬物の知恵」― 展示生薬：甘草、麻黄、茯苓、龍骨、桂皮、沈香、アシュワガンダ、展示箱：人参類、葛根湯、従前第穂湯、アーユルヴェーダ製剤アビピットカル散剤。The Wonder Box ユニヴァーシティ・ミュージアム合同展、東京藝術大学美術館、2006、11/4-12/17、東京。